

# 第1学年外国語科学習指導案

日 時：令和3年11月10日 5時間目  
対象学級：西和賀町立湯田中学校 1年A組  
指導者：教諭 工藤卓大

## 1. 単元名 「PROGRAM5 The Junior Safety Patrol」 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

## 2. 内容のまとめ

### 第1学年

「読むこと」イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

## 3. 単元の目標 (ラウンド4)

- (1) 主語が三単現の時の動詞の変化や決まりについて理解し、英文の内容を読み取ることができる。  
「知識及び技能」
- (2) 英文の概要、要点を捉え、自分の意見や考えを反映させながら、教科書内容を深く読むことができる。  
「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 英文の概要、要点を捉えながら、教科書内容を通じて、登場人物について考えようとしている。  
「学びに向かう力、人間性等」

## 4. 単元について

- (1) 生徒について  
(略)

- (2) 教材について

本単元は、中学校学習指導要領解説外国語編において、「読むこと」イ にあたる。コミュニケーションを円滑にするための、英語での相づち表現や、三人称の人が行っていることなどを説明する表現を学ぶことができる。これまでは主語が一人称や二人称であったのに対し、初めて三人称が登場する。今後の Our Project でも応用できる題材であるため、人称への意識も少しずつ高めたい。

- (3) 指導について

本単元では自分 (I) と相手 (you) 以外の他の「人、もの、こと」について言及する時の言い方を学ぶ。Thinkの会話文は、日常生活でよく使う相づちや返し言葉が多く使われており、有用性が高い。これらに何度も触れさせながら、更に自分たちが必要と思われる文を考えて挿入したり、新たな情報を加えたりする活動を行う。文章を追加するためには、まずは概要を捉え、本文内容を十分に理解していなければならない。これまでのラウンドの積み重ねに加えて、より実際の会話に近い形で教科書本文を活用していく。

- (4) 本校研究との関わり

本校研究主題は「主体的に学習に取り組み、学び合う生徒の育成～授業の工夫・改善とよりよい学習の習慣化を通して～」であり、外国語科では主体的に学習に取り組む姿を「外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、場面に応じて適切に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする生徒」と捉える。普段の授業では、student teacherを仕組んだり、ALTとのインタビュー活動を定期的に行ったりして、主体的に学習に取り組むことができるようにしている。ただ自分の知っている知識で英語を話すのではなく、聞く相手や場面に応じて、話す早さや声量などを生徒自身が考えて工夫できることを意識して授業を進めている。

また、今年度の重点事項は「対話的な学習を取り入れた、課題解決に向けた学習の工夫」である。外国語科は、教科の特性として、対話的な学習の割合が多くなる。その中で、より深い対話となるように、つなぎ言葉やあいづち表現、ジェスチャーなども使いながらペアや学級の生徒との対話を重視して授業を進めている。

5. 単元の評価規準（ラウンド4）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>主語が三単現の時の動詞の変化の特徴やきまりについて理解している。</li> <li>主語が三単現の時の動詞の変化に気をつけて、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文の概要、要点を捉え、自分の意見や考えを反映させながら、教科書の内容を深く読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文の概要、要点を捉え、自分の意見や考えを反映させながら、教科書の内容を深く読もうとしている。</li> </ul>

6. 指導と評価の計画（12時間）

ラウンド1（計3時間）5月 リスニング			
時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1 2	○音声を聞き、初めて聞く物語の概略をつかむ。ピクチャーカード等を活用しながら、場面を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明はせずに、聞こえた音声を基に概略をとらえることを目標とする。</li> <li>予め聞くときのポイントを提示する。</li> </ul>	【主体的】 ・概略を聞いて理解しようとしている
3	○プログラムを通して聞き、全体をつかむ。また、簡単なQ&Aを行い、内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえた内容について、簡単な英語でやりとりする。</li> </ul>	【知識・技能】 ・会話の中で、Q&Aに答えることができる。 〔学習シート〕 概略を捉えることができる。
ラウンド2（計1時間）7月 音と文字の一致			
4	○文字を見て、自分の中で音声化をする。その後、本文を聞き、音と文字を一致させながら、正しい順番に英語を並び替える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラウンド1で聞き取っていた内容について、対話しながら思い出していく。</li> <li>文字を見て、記憶を頼りに並び替えるのではなく、聞こえてきた英語を基にして並び替えるように留意する。</li> </ul>	【知識・技能】 〔学習シート〕 ・聞こえた音を基に、英文を並び替えることができる。
ラウンド3（計2時間）9月 音読			
5	○教科書本文の場면을想起しながら、相手に伝わりやすい表現で、工夫して読む。なお、単元を通して、帯活動として身近な話題に関する「話すこと〔やりとり〕」の言語活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの英文について、日本語訳を与えることはしない。</li> <li>文字と音が一致するように、繰り返し指導する。</li> </ul>	【知識・技能】 ・音読の際に気をつけるポイントに留意して音読している。 【主体的】 ・教科書の内容を踏まえ
6	○英語の特徴に留意しながら、教科書本文の登場人物になりきって、教科書の内容を読む。なお、単元を通して、帯活動として身近な話題に関する「話すこと〔やりとり〕」の言語活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>読むとき、聞くときのポイントを示し、生徒同士で評価できるようにアドバイスする。</li> </ul>	て、強弱やジェスチャー等に工夫しながら、相手に内容を伝えようとしている。

ラウンド4 (計3時間) 11月 内容理解、ライティング			
時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
7 8 本時	<p>○教科書本文の内容を、自己表現につなげることができるよう、語順やフレーズなどに意識して音読を行う。</p> <p>○本文にかかわる質問に対して、書かれている内容を基にして、理由や根拠となる英文を探し、自分の考えを示す。</p> <p>○教科書の内容に応じて、自作の英文を追加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穴あき, 並び替え, 頭文字だけ等, レベルに応じたワークシートを準備する。</li> <li>・内容をより深く考えられる質問になるよう工夫する。</li> <li>・自作の英文が自然に挿入できるように工夫するための十分な時間を確保する。</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容について深く考えたり、内容に応じて自作の英文を加えることができる。</li> </ul>
9	○教科書本文を、写真や頭文字等のヒントを基にして書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出だしの文字のみが書かれてあるワークシートから、本文を書くように指導する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>〔学習シート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを基に、教科書本文を書くことができる。</li> </ul> <p>*ただし、スペリングの正確性は問わない。</p>
ラウンド5 (計3時間) 2月 リテリング			
10 11 12	<p>○教科書の登場人物を自分に置き換えて、自分ならどのように返答するのかを考え、登場人物になりきって対話をする。</p> <p>○自分が話した内容や、ペアが使った表現などを英語で書きためる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話した内容や、良いと思った表現を英語で書くように指導する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容を、自分の言葉で相手に伝える事ができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じて、自分の話したい内容に応じて三単現を適切に使用することができる。</li> </ul>

7. 本時の指導（2時間目／全3時間）

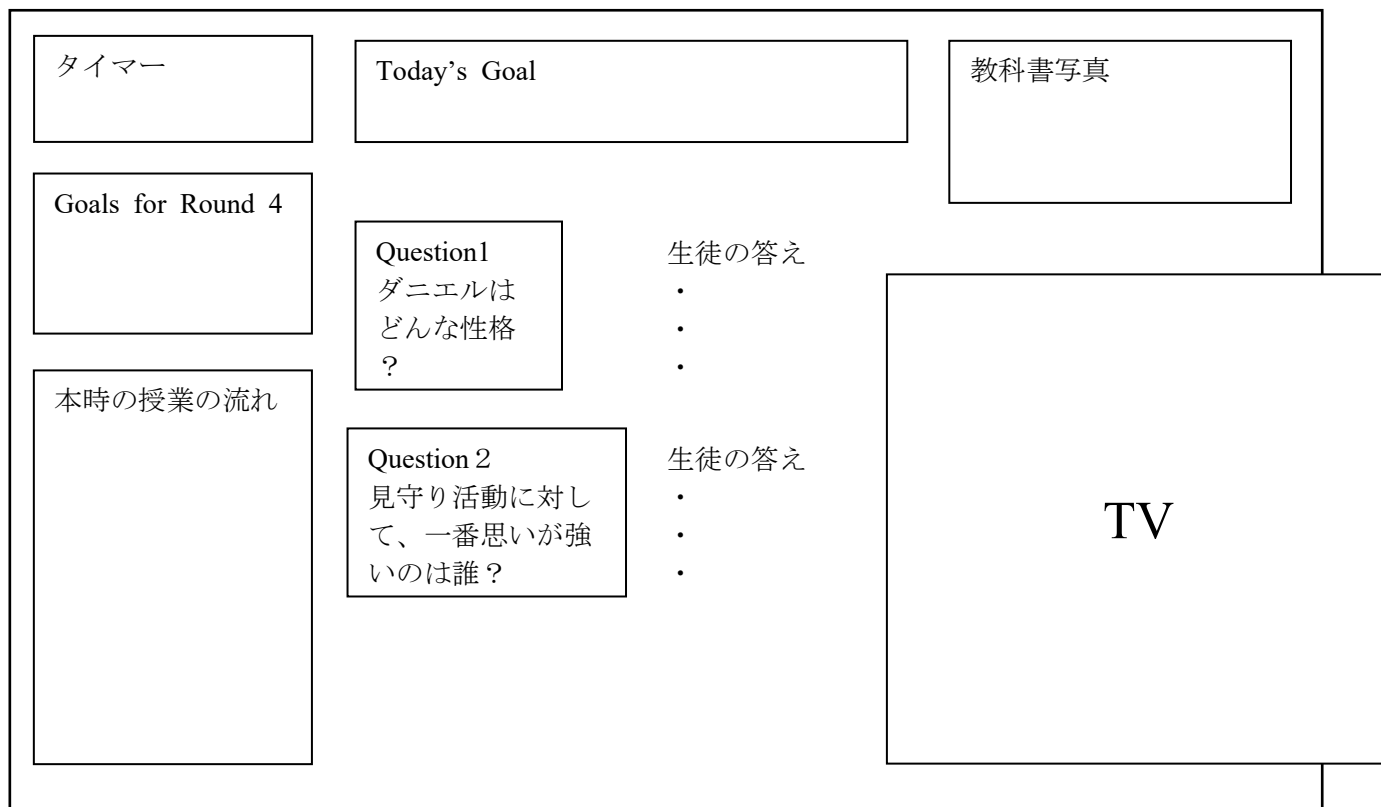
(1) 目標

登場人物の会話のやりとりから想像して、教科書の内容をより深く考えることができる。

(2) 展開

階	学 習 活 動	・指導上の留意点（◇評価）
準備	0 Vocal Exercise 二重母音の発声練習を行う。	・授業前の声出し、発音の確認をする。
導入 1 3 分	1 帯活動 (Student Teacher' s Job) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Student Teacher' s Job 1. 基本的なあいさつ (曜日、月、天気等) 2. BINGOの先生役 3. Storyの読み聞かせ (Kipper Story)</div> 2 単元の音声確認 前時に使用しているレベル別音読シートを使って、単元の音声を確認する。  3 学習課題の確認	・必要に応じて、補助発問を行う。  ・発音や強弱等、気をつける部分を考えて読めるように指導する。 ・発音について、特に (f, v, th, r, l) には注意して指導する。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Today's Goal 登場人物について考えたり、会話に合うオリジナル・スキットをつくったりしてみよう</div> 4 課題解決の活動①T-Sインタラクション 登場人物の会話のやりとりを確認しながら、英文をヒントに書かれていないことを推測する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Main Question No.1 ダニエルってどんな性格？  No.2 見守り活動に対して、一番思いが強いのは誰？</div> 5 課題解決の活動② オリジナル・スキットの挿入 ①ペアで会話のやりとりに挿入するスキットを考える。 ②発表されたスキットがやりとりのどこに挿入されるのかを考える。	・Sub QuestionからMain Questionへとつなげていく。 ・Main Questionの答えを全体で共有する。  ◇英文の概要、要点を捉え、教科書の内容について深く考えている。【思・判・表】  ・一台端末のロイロノートを使用する。 ・スキットは工夫がみられるものを具体的にほめて、次の単元につなげる。  ◇自分の意見や考えを反映させながら、教科書の内容について深く考えている。【思・判・表】
終末 2 分	6 学習を振り返る。	・本学習での取組と学習の成果を確認する。

## 8. 板書計画



【Question 1】

## PROGRAM 5 Round 4

挿絵

Your idea

Key number

【Question 2】

Your idea

Key number

挿絵

Mao : ①That' s my grandpa.

Daniel : ②Oh, he watches students, right?

Mao : ③Yes. ④He stands on the street every day.

Daniel : ⑤Every day?

Mao : ⑥Ah, he doesn' t stand on weekends.

Daniel : ⑦I see. ⑧We have the same job in the U.S.

Mao : ⑨Really?

Daniel : ⑩ Yes, but some students watch other students.

⑪They' re the Junior Safety Patrol.

Ken : ⑫You take off your shoes here.

Daniel : ⑬Yes.

⑭Some Americans don' t wear shoes at home nowadays.

Mao : ⑮That' s new to me.

Daniel : ⑯This is my cousin Jenny.

Mao : ⑰She' s cool.

Daniel : ⑱She' s a member of the Junior Safety Patrol.

Ken : ⑲Does she enjoy her job?

Daniel : ⑳Yes, she does. ㉑She' s proud of it too.

Mao : ㉒It' s an important job.